

インフルエンザ(2026 年第 4 週)疫学情報

《コメント》

2026 年第 4 週の定点当たり報告数は 16.64(患者報告数 63,326)となり、前週の定点当たり報告数 11.33 よりも増加した。都道府県別では鹿児島県(35.19)、宮崎県(29.36)、大分県(28.90)、宮城県(24.85)、三重県(23.84)、千葉県(23.80)、長崎県(22.90)、静岡県(22.73)、高知県(22.47)、山梨県(22.23)、埼玉県(22.18)、愛媛県(22.08)の順となった。全国 47 都道府県中、42 都道府県では前週の報告数よりも増加し、5 都道府県では前週の報告数よりも減少した。

基幹定点医療機関から報告された、インフルエンザによる入院報告数は 647 例であり、前週(843 例)から減少した。47 都道府県から報告があり、年齢別では 1 歳未満(22 例)、1～4 歳(92 例)、5～9 歳(95 例)、10 代(59 例)、20 代(17 例)、30 代(12 例)、40 代(13 例)、50 代(24 例)、60 代(40 例)、70 代(99 例)、80 歳以上(174 例)であった。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況をみると、直近 5 週間(2025 年第 52 週～2026 年第 4 週)では、AH3 亜型が 154 件(74%)、B 型が 53 件(26%)であった。

詳細は国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト(<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/article/influenza/article.html>)を参照されたい。